

製品安全データシート

【製造者情報】

会社名 株式会社 善 管
〒730-0802 広島市中区本川町2丁目1-12 和光パレス21
担当部門 製品開発室 小林栄次
電話 082-291-1972
緊急連絡先 同上

2013年10月 改訂

【製品名】 : 汎用洗剤 《 ESW-HR 》

【主な用途】 : エスカレーター手摺り清掃

【組成、成分情報】

単品、混合物の区別 : 混合物
一般名 : 洗剤
成分 : グリコール系溶剤、界面活性剤、増粘剤
成分及び含有量 100%
化学式 非公開
化審法番号 非公開
安衛法番号 非公開
CAS No. 非公開
国連分類及び国連番号 該当なし
分類に寄与する不純物 : 情報なし
及び安定化添加物
化学特性に関する情報 : 危険有害物質対象 該当なし
CAS No. 該当せず
含有量 適用せず
P R T R法指定 該当せず
労安法通知 該当せず

【危険有害性の分類】

化学物質等の分類 : 分類基準に該当しない
生態影響 : データ無し
GHS分類
物理化学的危険性 : 引火性液体 区分外
自然発火性液体 区分外
自己発熱性化学品 区分外
水反応可燃性化学品 区分外
酸化性液体 区分外
健康に対する有害性 : 吸引性呼吸器有害性 区分外
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

【応急処置】

吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
皮膚に付着した場合 : 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ、又は取り去る。
多量の水と石鹼で洗う。

- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。無理に吐かせない。
- 応急処置をする者の保護 : 救助者は必要に応じて適切な保護具を着用する。
いずれの場合も速やかに医師の診断を受ける。
-

【火災時の措置】

- 消化剤 : 大量の水、二酸化炭素、粉末消化剤、土
- 特有の消化方法 : ガスの滞留しない場合で風上より消化し、漏洩防止処置を施す。
- 消化を行う者の保護 : 消化作業の際は、空気呼吸器を含め適切な防護服（耐熱性）を着用する。
-

【漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急措置 : 関係者以外の立入りを禁止する。
漏洩場所を換気する。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
希釈水は汚染を引き起こすおそれがある。
- 回収・中和 : 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
- 封じ込め及び浄化方法・機材二次災害の防止策 : 危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。
-

【取扱い及び保管上の注意】

- 取扱い
- 技術的対策 : 『暴露防止措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気 : 『暴露防止措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
- 安全取扱い注意事項 : 換気の良い場所で取り扱う。
眼、皮膚又は衣類に付けない。
取扱い後はよく手を洗いうがいをする。
- 接触回避 : 『安全性及び反応性』を参照。
- 保管
- 技術的対策 : 特別に技術的対策は必要としない。
- 混触危険物質 : 『安全性及び反応性』を参照。
- 保管条件 : 保管温度：2～40℃
日光から遮断する。
容器を密閉して保管する。
凍結厳禁。
- 容器包装材料 : 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。
-

【暴露防止措置】

設備対策	: 換気をしながらご使用ください。 本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。
保護具	
呼吸器の保護具	: 換気が不十分な場合には、適当な呼吸器保護具を着用する。
手の保護具	: 適切な保護手袋を着用する。
眼の保護具	: 適切な眼の保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣、必要に応じて保護服及び保護長靴を着用する。
衛生対策	: 取扱い後はよく手を洗う。

【物理、化学的性質】

物理的状态	
形状	: 液体
色	: 淡青色
臭気	: 特異臭
pH	: 6.0~7.5
沸点、初留点及び 沸騰範囲	: 情報なし
引火性	: 引火せず
自然発火温度	: 情報なし
溶解性	: 水に易溶
粘度	: 1.0~6.0 Pa・s

【安定性及び反応性】

安定性	: 通常の実取扱い条件においては安定
危険有害反応可能性	: 反応性なし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: 酸化性物質、その他一般的な混触禁止物質との混触を避ける。
危険有害な分解生成物	: 燃焼などによりCO等の有害ガスを発生する恐れがある。

【有害性情報】

急性毒性	
経口	: 分類結果は急性毒性(経口)一区分外となるが、分類できない成分が約50%含まれるため急性毒性(経口)一分類できないとした。
経皮	: 分類結果は急性毒性(経皮)一区分外となるが、分類できない成分が約50%含まれるため急性毒性(経皮)一分類できないとした。
吸入	: 分類結果は急性毒性(吸入：蒸気)一区分外となるが、分類できない成分が約50%含まれるため急性毒性(吸入：蒸気)一分類できないとした。 粉じんミストによる健康への有害性は判断できないため急性毒性(吸入：粉じん、ミスト)一分類できないとした。
皮膚腐食性/刺激性	: 分類結果は皮膚腐食性/刺激性一区分外となるが、分類できない成分が約50%含まれるため皮膚腐食性/刺激性/一分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類結果は眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性一区分外となるが、分類できない成分が約50%含まれるため眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性一分類できないとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性一データなし 分類結果は皮膚感作性一区分外となるが、分類できない成分が約50%含まれるため皮膚感作性一分類できないとした。
生殖細胞変異原性	: 分類結果は生殖細胞変異原性一区分外となるが、分類できない成分が約50%含まれるため生殖細胞変異原性一分類できないとした。
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 分類結果は特定標的臓器毒性(単回暴露)一区分外となるが、分類できない成分が約50%含まれるため特定標的臓器毒性(単回暴露)一分類できないとした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: 40℃動粘性率が20.5mm ² /Sより大きいいため吸引呼吸器有害性一区分外とした

【環境影響情報】

環境に関する有害性

水生環境急性有害性	: 分類結果は水生環境急性有害性一区分外となるが、分類できない成分が約50%含まれるため水生環境急性有害性一分類できないとした。
水生環境慢性有害性	: 分類結果は水生環境慢性有害性一区分外となるが、分類できない成分が約50%含まれるため水生環境慢性有害性一分類できないとした。
生態毒性	: 情報なし
環境影響その他	: 洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処する。漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
生分解性	: 99% (7日以内) グリコール類は生分解性が良く、環境中で速やかに分解される。嫌気性分解100%。好気性分解90%。

【輸送上の注意】

国際規制

海上規制情報	: 該当しない
UN No.	: 該当しない
Marine Pollutant	: Not applicable
航空規制情報	: 該当しない
UN No.	: 該当しない

国内規制

陸上規制情報	: 消防法、労働安全衛生法、毒性劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従う。
海上規制情報	: 該当しない
国連番号	: 該当しない

海洋汚染物質	: 非該当
航空規制情報	: 該当しない
国連番号	: 該当しない
特別安全対策	: 『取扱い及び保管上の注意』の記載に従う。 容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

【廃棄上の注意】

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 排水は水質汚濁防止法及び地方自治体の排水基準に従う。
汚染容器及び包装	: 空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収にまわす。

【主な適用法規】

消防法	: 非危険物
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の16項()

その他記載内容の問い合わせ先

株式会社 善 管 開発室 小林栄次
〒730-0802 広島市中区本川町2丁目1番12号
TEL (082) 291-1972

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取り扱いについては十分注意して下さい。
なお、含有量、物理化学的性質の数値は保証値ではありません。また、注意事項などは、一般的な取り扱いを対象としていますので、特殊な取り扱いの場合はご配慮願います。
法改正や製品の改良により、MSDSを改訂する場合がありますので、作成・改訂日が2年以上たっている場合は最新版であるかどうかご確認下さい。
